

一般社団法人 日本専門医機構
第5期第7回理事会 議事概要

1. 開催日時 2022年12月16日（金） 16時00分～18時22分
1. 開催場所 日本専門医機構会議室（会場およびWEB会議）

I. 第6回理事会（11月18日開催）議事録の確認

渡辺理事長より、第6回理事会（11月18日開催）の議事録の確認が行われ、問題がある場合は申し出て頂くこととした。

II. 協議事項

1. 総務委員会

(1) 令和5年度(2023年度)事業計画

矢富担当理事（委員長）より、令和5年度（2023年度）事業計画案が諮られ、承認された。

(2) 顧問（諮問機関）の設置について

矢富担当理事（委員長）より、本機構の事業の継続性を担保することなどを目的に、外部の諮問機関として顧問を設置できる規程を定めることが提案された。設置自体の必要性および契約形態などについて異議はなく、名称を「顧問」から「アドバイザー」に変更したうえで承認された。

(3) えるぼし認定について

矢富担当理事（委員長）より、女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」を日本専門医機構として申請することが諮られ、承認された。

(4) 職員関連規程の変更

矢富担当理事（委員長）より、日本専門医機構の職員関連規程の変更について諮られ、承認された。

2. 専門研修プログラム委員会

(1) 整備基準変更について

（整形外科・総合診療 プログラム整備基準／精神科・救急科 カリキュラム整備基準）

宮崎担当理事より、整形外科・総合診療のプログラム整備基準および精神科・救急科のカリキュラム整備基準の変更について諮られ、承認された。

(2) プログラムの追加審査について

宮崎担当理事より、2023年度専門研修開始予定のプログラム申請件数について、新規プログラムの追加が2件あることから、小計は124件となることが報告され、追加で機構認定専門研修プログラムとして認めることが承認された。

なお、2023年度専門研修開始予定のプログラムは、理事会承認済の更新プログラム3,068件、プログラム廃止34件と合わせて、合計3,158件のプログラムを機構認定専門研修プログラムとして承認したことになる。

(3) ダブルボードについて（救急科⇔外科）

宮崎担当理事より、救急科と外科のダブルボードの申請があったこと、当委員会からの問合せに対して領域学会から適切な修正案が提出されたことが報告され、本件申請が承認された。

なお、ダブルボードについては明確な規定がなく、申請が出されるごとに個別に審議を行ってきたため、何らかの規定を設けるための議論を専門研修プログラム委員会にて開始する予定であることが報告された。

3. 専門医認定・更新委員会

(1) 更新基準改訂案（脳神経外科・眼科）

森担当理事より、前回の理事会で保留となった、脳神経外科および眼科の更新基準の改定案について、懸案となっていた事項（連続3回以上の更新で診療実績の証明を免除するという規定）以外の部分が改めて諮られ、承認された。

(2) 機構専門医認定二次審査について（内科）

森担当理事より、機構の定めた認定基準に基づき学会の一次審査に合格した内科(184名)の専攻医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として新規認定したことが報告され、承認された。

(3) 専門医のシステム登録について

森担当理事より、前回理事会でも議論になっていたマイページへの医師免許証画像のアップロードについて、システム操作に不慣れな世代も多いことを考慮して画像アップロードを必要としない仕様に変更することが提案され、承認された。

(4) シニアキャリア検討ワーキンググループの設置と委員につきまして

森担当理事より、「連続して3回以上更新した専門医の診療実績の免除」、「メスを置いた外科専門医の扱い」に関する問題を検討するためのワーキンググループを設置する案が、委員候補案を添えて提案され、承認された。なお、渡辺理事長より、検討には非医師の視点が必要だという意見が出され、飯野奈津子理事、松本陽子理事が本ワーキンググループに参加することが決定した。

4. データベース検討委員会

(1) 共通講習eラーニングシステムの移行について

富山担当理事より、共通講習eラーニングシステム（受講登録・管理システム）を、機構の専攻医・専門医登録システムである JMSB Online System+ に移行する件について、要件定義、基本設計を進めていること、データ関係の考え方、追加機能などについて説明があり、承認された。

5. 臨時社員総会の議題について

渡辺理事長より、2023年2月16日に臨時社員総会を開催すること、議題は令和5年度事業計画、収支予算書および令和4年度定時社員総会（6月29日開催）での事務局不手際についてであることが諮られ、承認された。

6. その他 特になし。

Ⅲ. 報告事項

1. 各種委員会報告

(1) 総務委員会

矢富担当理事（委員長）より、12月1日に総務委員会を開催したことが報告された。

(2) データベース検討委員会

富山担当理事より、専門医のシステム登録状況について報告された。

(3) 専門研修プログラム委員会

宮崎担当理事より、12月6日に専門研修プログラム委員会を開催したことが報告された。

(4) 研究医養成に関するワーキンググループ

金井担当理事（委員長）より、2023年度の臨床研究医コースの採用者数が12名で確定したことが報告された。

(5) 専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループ

北村理事（委員長）より、専攻医採用におけるマッチングシステム活用について検討を開始することが報告された。また、渡辺理事長より、有識者である和光純教授を講師に理事・役員を対象としたウェブ講義を2023年1月中旬に開催する予定であることが報告された。

(6) サブスペシャルティ領域検討委員会

滝田理事（委員長）より、サブスペシャルティ領域専門研修細則の改訂について議論を進めていることが報告された。なお、次回以降の理事会で中間報告を行う予定である。

(7) 総合診療専門医検討委員会

飯野理事（副委員長）より、11月22日に総合診療専門医検討委員会を開催したこと、専攻医および特任指導医が受験した今秋の総合診療専門医認定試験において、受験者の約9割にあたる237名を合格としたことが報告された。また、同委員会の部会において、総合診療の研修医像などについて議論を進めていることが報告された。

(8) システム要件検討ワーキンググループ

富山担当理事より、10月14日、11月30日にシステム要件検討ワーキンググループを開催したことが報告された。

2. 専攻医登録状況について

渡辺理事長より、2023年度研修開始予定専門研修プログラムの専攻医一次募集について、締切時点での応募数は8,931人であったことが報告された。

3. 社員変更について

渡辺理事長より、社員の代表者変更（日本リハビリテーション医学会）が報告された。

4. その他

(1) 次回（12月19日）定例記者会見について

浅井理事（委員長）より、次回の定例記者会見を12月19日に開催すること、次第内容は専攻医一次募集の応募状況について、および2023年1月12日に開催予定の記者懇談会についてとすることが報告された。

(2) 事務局の事務不手際に対する対策

事務局より、先般発生した2件の事務不手際について、再発防止策をまとめたことが報告された。

(3) 機構ホームページ上の地域枠不同意離脱者に対する見解について

渡辺理事長より、当機構ホームページの「専門研修制度における地域枠医師の取扱と専門医の認定について」というページについて、改めてこの問題について議論を行う予定であることから、ホームページの記載も「検討中」と改めることとしてよいか確認がなされ、了承された。

(4) 専門医認定料の設定について

渡辺理事長より、12月9日開催の運営委員会において、過去の理事会決定における専門医認定料の設定根拠について確認があったことを受けて、財務委員会において改めて整理、検討を行って欲しいとの依頼があった。

IV. その他

特になし

今後の会議予定

- ・第5期第8回理事会 2023年1月20日（金）16時00分～18時00分

以上